

(別紙3)

発大農第842号
令和5年9月1日

大山町獣肉解体処理施設
大山ジビエ振興会
会長 安達 忠良 様

大山町長 竹口 大紀



令和4年度 「大山町獣肉解体処理施設」 指定管理者業務評価書

施設名	大山町獣肉解体処理施設
施設所管課	農林水産課
指定管理者名	大山ジビエ振興会
指定期間	平成30年12月1日 ~ 令和5年3月31日 (5年目)

【モニタリング終了後の総評】

事業計画書、収支予算書と実際の業務を比較して適切に管理運営されている。
収支としては、年々販売額が増加し稼働日数も増えており、経営改善に取り組んでいるが、収入に出資金の充当がある。より一層の経営改善に努められたい。

【施設所管課】

事業計画書、収支予算書と実際の業務を比較して適切に管理運営されている。
新商品の開発を行い、イノシシ肉の消費拡大に努力されている。今後も新たな販路を開拓するなど、ジビエ振興により一層取り組んでいただきたい。

【第三者評価】

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

特になし

【第三者評価】

令和4年度「大山町獣肉解体処理施設」モニタリング評価表（令和 5年 8月）

施設名	大山町獣肉解体処理施設	
施設所管課	農林水産課	
指定管理者名	団体名	大山ジビエ振興会
	所在地	大山町羽田井1419番地226
指定期間	平成 30年 12月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日	
選定方法	公募 ・ 非公募	
施設の設置目的	イノシシ及びニホンジカを地域資源として有効活用し、地域の活性化に資するため	
主な実施事業	個体の受入れ、解体処理、精肉処理及び販売	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（65点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか	B	
	安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	
II サービスの質の評価（25点）			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	
III サービスの安定性の評価（10点）			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか	A	※2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	A	※3
【総評（所管課評価）】 協定書の基準を遵守しており、項目によっては協定書の水準より優れている。		合計点 (70) 点 / (100) 点 ×100 = (70) 平均点 (3.5) 点	

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度【令和4年4～ 令和5年3月】 A	前年度【令和3年4～ 令和4年3月】 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	314	318	△4、98.7 (%)	
施設利用者数	—	—	(%)	
施設稼働率	86	87.1	1.1、98.7 (%)	
事業開催数	—	—	(%)	

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度【令和4年4～ 令和5年3月】 A	前年度【令和3年4～ 令和4年3月】 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入			(%)	
指定管理料			(%)	
自主事業収入	8,469,246	8,023,333	445,913、105.6 (%)	
猪肉販売	7,953,664	8,023,333	△69,669、99.1 (%)	
コロッケ販売等	515,582	0	515,582 (%)	新規収入のため 皆増
〇〇〇〇			(%)	
その他	648,030	611,187	36,843、106 (%)	
合 計	9,117,276	8,634,520	482,756、105.6 (%)	

(2) 支 出

項 目	本年度【令和4年4～ 令和5年3月】 A	前年度【令和3年4～ 令和4年3月】 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	4,901,497	4,237,000	664,497、115.7 (%)	
消耗品費	458,708	287,578	170,120、159.5 (%)	急速冷凍用アルコール等 の補充など
光熱水費	893,342	687,455	205,887、129.9 (%)	電気代等の高騰により
〇〇〇〇			(%)	
〇〇〇〇			(%)	
〇〇〇〇			(%)	
その他	2,863,729	3,422,487	△558,758、83.7 (%)	
合 計	9,117,276	8,634,520	482,756、105.6 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度【令和4年4～ 令和5年3月】 A	前年度【令和3年4～ 令和4年3月】 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	0	0	0、0 (%)	
② 利用料金比率	—	—	(%)	
③ 人件費比率	53.8%	49.0%	4.9%、109.8 (%)	
④ 外部委託費比率	—	—	(%)	
⑤利用者当たり管理 コスト	—	—	(%)	
⑥利用者当たり自治 体負担コスト	—	—	(%)	

① 事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

② 利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③ 人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

苦情なし

5 利用者アンケートの結果

一般利用者なし